

体から活性酸素を除去する「電解水透析」のご紹介

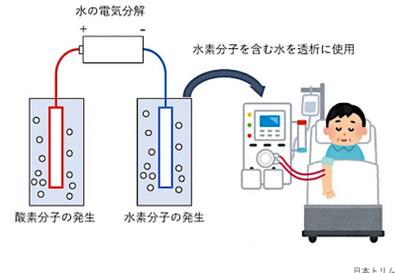
ポイント

1. 電解水透析とは、水素水を透析液として使った新しい透析法
2. 透析時に発生する活性酸素を水素水が効率的に除去
3. 透析に関連する倦怠感、痒痒感、心血管合併症を低下させ、予後を有意に改善
4. 導入から10年以上が経過し、全国34施設で稼働中で近年増加傾向

電解水透析とは

水を電気分解すると酸素と水素に分離します。水素が発生する陰極側の水は抗酸化作用があり、有害な活性酸素を水に変えてくれます。この**水素水を透析液として利用したのが「電解水透析」**です。

2003年に初めて透析患者さんに「電解水透析」を行い、酸化ストレスが明らかに低下することが証明されました。

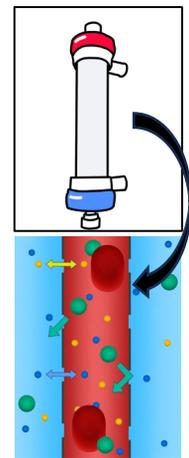


透析における活性酸素の問題

血液透析はダイアライザーというろ過器で血液ときれいな水を膜を介して接触させ、ろ過や拡散の原理を利用して血液中の毒素や余分な水を除きます。この時、血球成分は膜にぶつかり、一定の割合で壊れてしまいます。

好中球がダイアライザーの中で壊れると、内部にあった**活性酸素が血中に放出されます**。活性酸素は細胞やDNAなどを酸化し、生体に有害な作用を及ぼします。

透析治療は体から尿毒素を除去しますが、**その一方で、体に有害な活性酸素を血中に放出して**、組織を障害しています。透析患者さんが**一般の人よりも動脈硬化や老化現象が進行**してしまう大きな原因です。



電解水透析の効果と現状

「電解水透析」の効果で**最も特徴的なのは倦怠感の改善**です。透析後に倦怠感のあった患者さんが8週間後には倦怠感が有意に減少しました。また、「電解水透析」は通常の透析に比べて**死亡及び心脳血管病のリスクが41%減少**するという報告もあります。

透析の度に全身の組織に慢性的な炎症を引き起こし、心血管病変の進行だけでなく、免疫能も低下します。**痒痒感の軽減や高血圧、栄養状態の改善**などが報告されています。

「電解水透析システム」は日本独自の最先端技術です。超純水の作製から水素水の作製までを一貫して行います。**発売から15年が経過し、国内34施設で稼働中**、現在も増加傾向にあります。将来の透析の標準治療になると予想されています。

